

予算決算常任委員会 摘録

1. 開催日 令和2年9月3日(木) 議場
2. 出席委員 坂本義明委員長 田部道男副委員長 岡村信吉 竹内光義 門脇俊照 赤木忠徳
谷口隆明 林高正 横路政之 堀井秀昭 福山権二 徳永泰臣 近藤久子
吉方明美 政野太 五島誠 岩山泰憲 山田聖三 桂藤和夫
3. 欠席委員 なし
4. 委員外議員 なし
5. 事務局職員 永江誠議会事務局長 俵啓介議会事務局議事調査係長 丸飯龍太議会事務局主事
6. 説明員 加藤孝総務部長 中原博明財政課長 宮本雅幸財政課財政係長
7. 傍聴者 なし
8. 会議に付した事件
議案第136号 令和元年度庄原市一般会計歳入歳出決算認定について
議案第137号 令和元年度庄原市住宅資金特別会計歳入歳出決算認定について
議案第138号 令和元年度庄原市歯科診療所特別会計歳入歳出決算認定について
議案第139号 令和元年度庄原市休日診療センター特別会計歳入歳出決算認定について
議案第140号 令和元年度庄原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第141号 令和元年度庄原市国民健康保険特別会計(直診勘定)歳入歳出決算認定について
議案第142号 令和元年度庄原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
議案第143号 令和元年度庄原市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第144号 令和元年度庄原市介護保険サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第145号 令和元年度庄原市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第146号 令和元年度庄原市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第147号 令和元年度庄原市浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第148号 令和元年度庄原市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第149号 令和元年度庄原市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第150号 令和元年度庄原市水道事業会計決算認定について
議案第151号 令和元年度庄原市国民健康保険病院事業会計決算認定について
議案第152号 令和元年度庄原市比和財産区特別会計歳入歳出決算認定について

午後3時30分 開 会

○坂本義明委員長 これより予算決算常任委員会を開会いたします。ただいまの出席委員は19名であります。よって、直ちに本日の会議を開きます。本日の会議におきまして、傍聴、写真撮影、録音、録画を許可しております。

議案第136号 令和元年度庄原市一般会計歳入歳出決算認定について

議案第137号 令和元年度庄原市住宅資金特別会計歳入歳出決算認定について

- 議案第 138 号 令和元年度庄原市歯科診療所特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 139 号 令和元年度庄原市休日診療センター特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 140 号 令和元年度庄原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 141 号 令和元年度庄原市国民健康保険特別会計（直診勘定）歳入歳出決算認定について
- 議案第 142 号 令和元年度庄原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 143 号 令和元年度庄原市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 144 号 令和元年度庄原市介護保険サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 145 号 令和元年度庄原市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 146 号 令和元年度庄原市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 147 号 令和元年度庄原市浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 148 号 令和元年度庄原市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 149 号 令和元年度庄原市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第 150 号 令和元年度庄原市水道事業会計決算認定について
- 議案第 151 号 令和元年度庄原市国民健康保険病院事業会計決算認定について
- 議案第 152 号 令和元年度庄原市比和財産区特別会計歳入歳出決算認定について

○坂本義明委員長 本委員会への付託案件について、議案第 136 号、令和元年度庄原市一般会計歳入歳出決算認定の件から議案第 152 号、令和元年度庄原市比和財産区特別会計歳入歳出決算認定の件までを一括審査することといたします。これに異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○坂本義明委員長 異議なしと認めます。よって、そのように決定いたします。審査の方法については、常任委員会の所管事務の例による区分により、分科会において審査することを 8 月 17 日の本委員会で確認しておりますので、本日は説明を受け、全体質疑のみを行います。あす以降の分科会日程については、配付資料のとおり予定しております。これより、執行者より説明を受けます。

○加藤孝総務部長 それでは、先ほど御上程いただきました議案第 136 号、令和元年度庄原市一般会計歳入歳出決算認定から議案第 152 号、令和元年度庄原市比和財産区特別会計歳入歳出決算認定までの合計 17 会計の決算認定につきまして御審議をいただきます。内容につきましては、決算審査参考資料の令和元年度決算の概要によりまして、総括的な説明を財政課長からさせますので、よろしく願いいたします。

○中原博明財政課長 それでは、部長からございました参考資料①と②の決算カードで決算の概要について説明させていただきます。決算の概要、1 ページをお願いいたします。市長のあいさつと重複する部分がございますが、御了承いただきたいと思えます。令和元年度一般会計の決算規模につきましては、歳入が 313 億 763 万円、歳出については 306 億 1,668 万円、翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支については 4 億 8,072 万円となりました。なお、普通会計での決算概要でございますが、もう一部の参考資料②、決算カードの 2 ページ、上段の左側について説明をさせていただきます。普通会計は、総務省のほうで他の団体と比較が可能なように統一基準を設けて、庄原市の普通会計では、一般会計と住宅特会、歯科特会と休日診療センター特会を合わせたものから歳入歳出の繰り出し繰り入れの重複部分を控除したもので普通会計ベースとしております。これによる普通会計における単年

度収支でございますが、2ページ上段、6番に記載しております1,596万9,000円の赤字でございますけれども、財政調整基金の取り崩しなどを加味いたしました実質の単年度収支、重要な指標となります10番の実質単年度収支でございますけれども、ごらんいただきますとおり1億3,892万6,000円ということで、このものについては平成28年度以来、3年ぶりに黒字ということになりました。それでは、決算の概要の2ページにお戻りいただきまして、市債の発行額につきましては、発行額全体で36億7,949万円と、前年度比較で申しますと、超高速情報通信網や和の丘の整備などの大型事業の完了に伴いまして、6億3,793万円の減額となりました。また、先ほどの決算カードにも記載がありますが、実質公債費比率については13.2%ということで、1.2%改善されたところでございます。要因については、本会議で説明をさせていただきました。3ページをお願いいたします。歳入決算の概要としております。4ページの表とあわせてごらんいただければと思います。市税につきましては後ほど説明をいたします。③地方特例交付金につきましては、子ども・子育て支援臨時交付金、保育の無償化に伴う臨時の交付金が、皆増、9,430万円の増ということで、大きく伸びております。地方交付税につきましては、合併算定替の特例措置の段階的縮減、7割から9割ということで、普通交付税については2億8,444万円の減。特別交付税につきましても、平成30年7月豪雨に係る交付額が、令和元年度では、対前年度で2億7,183万円減額となり、地方交付税全体では4%の減となったものでございます。国県支出金については、平成30年7月豪雨の本格復旧工事に伴って、それぞれ増額となっております。基金繰入金につきましては、財調からの取り崩しが大幅減少、また、減債基金の取り崩しを行わなかったことなどによりまして、繰入金全体では72.7%減となっております。市債では、先ほど説明いたしましたが、情報格差是正事業、超高速情報通信網の皆減、斎場整備事業の減などにより14.8%減額となったものでございます。それでは、5ページをお願いいたします。市税につきまして、説明をここでを行わせていただきます。個人市民税につきましては、所得割の減少などにより1.3%減少いたしました。法人市民税が10.4%の増ということで、市民税全体では448万円の増となりました。また、家屋の新築、償却資産、特に太陽光発電設備に係る3年間の軽減措置分の終了等がありまして、固定資産税については1.5%の増ということで、税収全体では前年度比1.0%の増額となりました。6ページ、普通交付税につきましては先ほど説明をいたしましたので、7ページに移らせていただきます。歳出決算の概要につきましては、8ページの表もあわせてごらんいただければと思います。主なものだけ説明をいたします。総務費については、先ほどから説明いたします情報格差是正事業、超高速情報通信網の整備によりまして7億9,229万円の減で、総務費全体では16.1%の減。民生費については、西城保育所の整備事業の5億円余りの増とプレミアム付商品券事業などの増によりまして、8.2%の増額となりました。衛生費につきましては、斎場整備事業の減額などにより17.7%の減。農林水産業費では、畜産振興事業、これは東城ポーターリーの整備補助の減によりまして、2億2,536万円の減などにより、全体では4.7%の減。土木費につきましては、土地区画整理、災害防除がそれぞれ減額となりまして、全体では12.2%減の決算となりました。逆に教育費では、社会体育施設管理事業、ここは総合体育館の照明設備であるとか、高野プールの整備事業によりまして、6,543万円の増。小学校事務局教育振興事業、これは教師用の図書の購入によりまして、2,725万円の増となっております。災害復旧事業については、本格復旧に向けて105.1%増と倍増しております。公債費については、平成30年度で繰上償還を2.8億円行ったことも相まって、前年度比で8億1,307万円と大きく減額となったものでございます。続いて9ページ、重複いたしますが、性質別なものについて

も改めて簡単に説明させていただきます。物件費につきましては、平成30年7月豪雨に伴う被災建物の撤去、これは業務委託料として執行しておりますので、6,279万円の増、また、地籍調査が4,868万円増などによりまして、前年度比7.3%の増となっていました。扶助費については、障害福祉サービス費の増加により自立支援事業分が3,021万円の増、また、児童手当や児童扶養手当の増加によりまして、全体では1.5%の増となったものでございます。普通建設事業は重複いたしますが、西城保育所の整備により5億5,000万円余りの増。新焼却施設整備によりまして2億6,753万円の増。また、増額となりましたけれども、冒頭申し上げました超高速情報通信網の完了によりまして8億円弱の減、斎場整備完了により6億6,817万円の減ということで、全体では25.1%減と大きく減額決算となりました。災害復旧事業費についてはごらんとおり102.7%の増でございます。公債費についても、先ほど説明したとおりでございます。積立金については、森林環境整備基金の新設によりまして増額となっております。繰出金については、主には公営企業に係る公債費が減額いたしまして、1.2%の減となったものでございます。以下、市民1人当たりにした決算状況であるとか市債残高について記載しております。14ページにつきましては、地方消費税交付金の増収分の使途、また、今年度から新たに森林環境譲与税の使途について、令和元年度分から記載をすることとしております。令和元年度では5,161万3,000円を譲与税として受けて、積立金を4,575万8,000円にしたものでございます。15ページが13の特別会計、いずれも収支均衡、または、黒字決算としております。中でも、国民健康保険特別会計で7,200万円余りの実質収支が出ておりますが、これについては、県へ精算すべき納付金が約1,600万円。また、被保険者数や収納率による交付金、さらには医療費の適正化に向けた保険者の努力支援制度に基づく歳入のみの交付金など、純繰越金に当たるものが5,600万円程度あって7,200万円余りの実質収支が出ております。介護保険特別会計については、精算納付すべき国県支払基金からの交付金等が約3,800万円。また、介護保険料や取り組み事業の点数化によります交付金、これも純繰越金部分となりますが、約6,200万円ということで、1億円余りの実質収支が出ております。公共下水道事業特別会計については、公営企業移行ということで、工事費等の未払金が発生しておりますので、1億3,500万円余りの実質収支が出ております。公営企業会計の決算概要につきまして、水道事業については、東城での大口需要者の廃業がございましたが、経常利益は7,654万5,000円。病院事業については、外来、入院患者数の増などによりまして4,717万2,000円と、5年連続の黒字となっております。比和財産区の決算状況については、ごらんとおりでございます。最後に基金残高の状況を載せております。国保と介護についての活用方策については今後検討するというようにしております。一番上の財政調整基金、40億円弱となっておりますけれども、これは令和元年の決算剰余金を2.5億円積み増したものが39億円でございます。令和元年度末で申し上げますと、37億2,600万円余りという財政調整基金の残高でございます。簡単ではございますが、説明は以上となります。

○坂本義明委員長 　　ただいまの説明について質疑があれば許します。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○坂本義明委員長 　　質疑なしと認めます。以降の審査は分科会で行うものとします。これに異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○坂本義明委員長 　　異議なしと認めます。本日はこれもちまして散会いたします。ありがとうございました。

午後3時45分 散 会

庄原市議会委員会条例第 30 条の規定により、ここに署名する。

予算決算常任委員会

委員 長 坂 本 義 明